



建物公開2025 Looking at Architecture 2025

時を紡ぐ館

A Mansion's Many Eras



2025.6.7_[土]—8.24_[日]

開館時間 | 10:00—18:00 (入館は閉館の30分前まで)

休館日 | 毎週月曜日 *ただし、7月21日、8月11日は開館。7月22日、8月12日は休館。

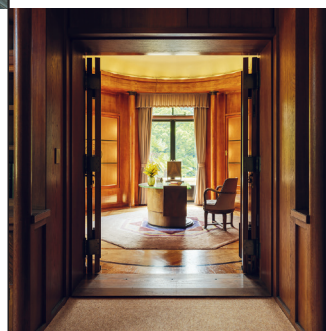
Exhibition period | Saturday, June 7 — Sunday, August 24, 2025

Hours | 10AM—6PM Last admission at 5:30PM

Closed | Mondays (except July 21, August 11), July 22, August 12

主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーグ L.P.

Bloomberg
Van Cleef & Arpels



東京都
庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN
TEIEN ART MUSEUM

関連プログラム

◎サテライト展示

「交わる建築 旧公衆衛生院×旧朝香宮邸」

当館に近接し、同時代の建築である

港区立郷土歴史館(旧公衆衛生院)との本展コラボレーション展示。

両館の豊かな建築デザインをご紹介します。

会期 | 2025年6月13日(金)～8月20日(水)

会場 | 港区立郷土歴史館 4階ギャラリー(当館より徒歩10分)

開館時間 | 9:00～17:00(土曜日のみ20:00まで開館)

休館日 | 毎月第3木曜日(祝休日等の場合は前日)

観覧料 | 無料

◎さわ会ーさわっておしゃべり鑑賞会

建物に触れ、素材の質感や装飾を味わい、

対話を通じて感じたことを共有する鑑賞会です。

企画 | 半田こづえ(明治学院大学 非常勤講師)

日時 | 2025年6月28日(土)

午前の回 10:30～12:30 午後の回 14:30～16:30

参加費 | 無料(当日有効の展覧会チケットが必要)

対象 | 中学生以上どなたでも

定員 | 各回6名程度(要事前申込)

上記のほか、会期中に様々なプログラムやワークショップを実施予定です。

申込方法や最新情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

フラットデー G(ALL)ERY Day

障害がある方も、赤ちゃん連れの方も、だれもが気兼ねなく来館できる日

フラットデー開催日はゆとりある環境づくりのため、展覧会の入場制限をいたします。

そのため事前のオンラインチケットのご購入が必要です。当日券は会場内の状況により販売を行わない場合がございます。予めご了承ください。障害者手帳をお持ちの方とその介護者2名、中学生以下、その他無料対象の方[※]は事前のオンラインチケットのご購入は不要です。

※招待券、年間パスポート、ぐるっとバスをお持ちの方等

ゆったり鑑賞日 Leisurely Art Appreciation Day

日時 | 2025年6月25日(水)10:00～18:00(入館は閉館の30分前まで)

ベビーアワー Baby Hours

日時 | 2025年7月2日(水)10:00～15:00(本館内でベビーカーを利用できる時間)

観覧料 Admission	
一般 Adults	¥1,000(¥800)
大学生(専修・各種専門学校含む) College and vocational students	¥800(¥640)
高校生・65歳以上 High school students and Seniors (65 and over)	¥500(¥400)
()内は20名以上の団体料金／中学生以下は無料／身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料／教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(要事前申請)／第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料	
*展覧会チケットはオンラインおよび美術館正門チケット売り場にてご購入いただけます。ただし、6月25日(水)・7月2日(水)はフラットデー開催日のため、美術館正門チケット売り場での販売を行わない場合があります。無料・割引対象者以外はオンラインにて事前にご購入ください。	

*June 25 and July 2, 2025 (Wednesday) is “G(ALL)ERY Day”, the day for relaxed appreciation of the exhibition. To create a safe, enjoyable environment, entry to the exhibition will be restricted. Please be aware that only visitors who have reserved and purchased tickets on line, who have disability certificates, or who are eligible for discounts or free admission will be admitted. Tickets are not sold at the Box Office.

ホテル雅叙園東京・国立科学博物館附属自然教育園 観覧料相互割引を実施予定

観覧料に関する最新情報は、当館ウェブサイトをご確認ください。

Please see our website for more details about admission.

- 1 松井写真館 《朝香宮邸正面外観》 1933年頃
- 2 東京都庭園美術館本館 正面玄関
- 3 東京都庭園美術館本館 第二階段
- 4 東京都庭園美術館本館 姫宮寝室前廊下
- 5 テオドール・マドセン/デザイン ロイヤル・コペンハーゲン/製造 《ペンギン》 1902年頃
- 6 ジャン＝バティスト・ゴヴネ/デザイン セーヴル製陶所/製造 《テーパー・ランプ ゴヴネNo.14 A》 デザイン:1935年 制作:1937年
- 7 バンスラン 《プレスレット》 1924年
- 作品は全て当館蔵

記載内容に変更が生じる場合がございます。

最新情報および詳細は当館のウェブサイトにてご確認ください。

建物公開2025 時を紡ぐ館



この建物は現在の姿となるまで、時代の潮流とともに幾重もの歴史を紡いできました。

朝香宮家が過ごした邸宅としての14年間。

吉田茂元首相が政務の場として活用した7年間。

国の迎賓館として、数々の国賓をもてなした19年間。

民間の催事施設として、多くの人々に開かれた7年間。

そして今、美術館として42年目を迎えるこの建物は、時代ごとにどのような機能や役割を果たし、人々と共生してきたのでしょうか。

本展では、各時代を彩るゆかりの作品や写真・映像資料を通して、建物の記憶を紐解きます。また、建物自体の魅力を存分にお楽しみいただけるよう、家具や調度品を用いた再現展示、3階ウインターガーデンの特別公開、さらに窓のカーテンを開け放ち、夏の新緑を望めるように設えます。

建築空間や室内意匠にもぜひご注目ください。

東京都庭園美術館の本館は、1933年(昭和8)に朝香宮家の自邸として竣工しました。1920年代にフランス・パリに滞在した朝香宮夫妻は、当時最新のアール・デコのデザインに触れ、帰国後はフランスの装飾美術家アンリ・ラバンに主要な部屋の内装デザインを依頼し、自邸建設に当たりました。設計には国内有数の設計組織として名高い宮内省内匠寮の技師らを起用し、昭和初期の邸宅建築としては最高峰のひとつとされています。

1933年(昭和8)に美術館として開館して以来、旧朝香宮邸の建築空間を生かした展覧会を開催しています。年に一度の建物公開展では、特に素材や技法、意匠など、建築そのものに注目しながら、毎回様々なテーマを設けて、当館の建築としての魅力を紹介しています。今回は、旧朝香宮邸における建築空間の機能の変遷に着目します。

東京都庭園美術館

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9 5-21-9, Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo

お問い合わせ Inquiry

TEL | 050-5541-8600(ハローダイヤル)

+81(0)50 5541 8600(Hello Dial operator service)

URL | www.teien-art-museum.ne.jp SNS | X ⑧ ⑨ @teienartmuseum

アクセス

Access

目黒駅 JR山手線 東口/東急目黒線 正面口より徒歩7分

白金台駅 都営三田線/東京メトロ南北線 1番出口より徒歩6分

(エレベーターご利用の場合は2番出口より徒歩8分)



幾重にも織りなされてきた時代を紐解く